



広報資料

2021年 全日本スーパーフォーミュラ選手権

MEDIA INFORMATION

2021年3月24日



















目次

はじめに	P3
~2021シリーズの方針~	
2021年シリーズのトピックス	P4
2021年シリーズのご案内	P5-6
大会開催スケジュール・概要	
公式合同テストスケジュール	
ポイントシステム、賞典、	
レースフォーマット	
SF19主要諸元	P7
2021年エントリーリスト	P8
2021年ドライバープロフィール	P9-20
2021年プロモーション	P21-27
アプリ・YouTube生配信	
ネット配信・SNS・ホームページ	
テレビ放送	
出演者	
新型コロナウィルス感染防止対策	P28
ABOUT SUPER FORMULA(スーパーフォーミュラの変遷)	P29-3
パートナー各社	P32









はじめに

~2021シリーズの方針~

2020年の新型コロナウィルスの世界的蔓延は、社会全体に深刻な影響を及ぼし、国内外の様々な大会・イベントが中 止・延期となりました。スーパーフォーミュラも大会の大幅な延期や、出入国規制により複数のドライバーが参戦不可を 余儀なくされました。

この状況下、全日本スーパーフォーミュラ選手権は、チーム、メーカー、サーキットなど多くの関係者の支えと、国・ 自治体・JAFのウィルス感染防止対策指針に沿った、マスク・手指消毒・3密回避の基本的対策、及び観客サイドとバド ックサイドの分離徹底により、8月の開幕戦から12月の最終戦までの全7戦を、お客様をお迎えして開催する事ができ ました。何よりこの厳しい社会情勢でもサーキットにお越し頂いたお客様には、感謝すると同時に、SFへの熱い想いを 強く実感いたしました。

また、この状況への対策として、レースフォーマットでは、予選・決勝の1Dav開催、レース距離短縮、無給油を実施し、 有効ポイント制を導入。プロモーションでは、お客様への情報サービスのデジタルシフトを推進・強化しました。

すなわち、全大会で新しい観客向けスマホアプリ「Grooview」導入、「デジタルスタジオ・YouTubeライブ配信」新設。 さらに5月にはデジタルモータースポーツイベント「JAF認定ヴァーチャルシリーズ・スペシャルラウンド」の実施、加え てグローバル・ネット配信プラットフォーム「Red Bull TV」での全レースの世界生配信を開始しました。

この他、BSフジのSF情報番組「GO ON!」の地上波キー局での放送を拡大、大都市圏での新たな視聴者層の獲得も進 めてまいりました。

2021年3月現在、コロナウィルス感染状況は決して楽観できるものではありませんが、ワクチン接種が開始され、厳 しい中にも新しい局面も見えてまいりました。

こうした現状を踏まえ、今シーズンの全日本スーパーフォーミュラ選手権は、感染状況を注視しながら、国・自治体・ JAFのガイドラインに則り、観客サイドとパドックサイドの分離対策を基本に、観客及びゲストをサーキットに迎え、全 7戦開催に向け、全力を尽くしてまいります。

今シーズンは、サーキット連携を強化し、前述の様々なプロモーション施策をさらに推進する事で、サーキットのお客 様の満足度アップ、及びSFのプレゼンス向上とリーチ拡大を図ってまいります。









2021シリーズのトピックス

1. 国内外の有力若手ドライバーの参戦

2020年のSFLチャンピオン宮田莉朋をはじめ、阪口晴南、大津弘樹、そして2年目となるタチアナ・カルデロン、サッシャ・フ ェネストラズら、国内外の若手ドライバーが参戦。新世代の挑戦、迎え撃つベテラン、というエキサイティングなバトル展開が 期待されます。

2. 新しいデジタル観客情報サービスツールの提供

昨シーズン、サーキット来場者の新しいデジタル情報ツールとして導入し、好評のスマホアプリGrooviewについては利便性をさ らに強化。また公式YouTubeでのドライバー、監督、サーキットクイーン・レースクイーンのトークイベントや、グリッドリポートの生 配信もコンテンツを充実し実施します。

3.スーパーフォーミュラ・ライツ/SFL全戦の併催

SFライツ全17戦を併催。SFLはSFはもちろん、あらゆるトップカテゴリーの登龍門として、年々その価値を増しています。 今年も最終戦の鈴鹿大会を除く6戦で併催します。

4.海外カテゴリーとの新たなスカラシップ/HPDスカラシップ

ホンダ・パフォーマンス・ディベロップメント(HPD)は、ホンダと連携して、フォーミュラ・リージョナル・アメリカの 2021年チャンピオンに対し、2022年の全日本スーパーフォーミュラ選手権参戦のためのスカラーシップを提供すると発表し ました。有望な若手ドライバーの参戦が期待されます。

5.参加型レースのTCRJの併催

世界的に隆盛を誇るTCRカテゴリー、TCRジャパンシリーズが今年も6大会開催されます。そのうちの5大会が全日本スーパ ーフォーミュラ選手権と併催されます(第2戦鈴鹿大会、第4戦菅生大会をのぞく)。

6.オーバーテイクシステムの秒数倍増

昨シーズンの第6戦鈴鹿JAFグランプリにおいて、オーバーテイクシステムの稼働可能時間を100秒から200秒に延長しま したが、今シーズンはこれを全レースに適用、オーバーテイクシーンの増加が期待されます。















2021シリーズのご案内

■大会開催スケジュール・概要

	開催日	開催地	予選方式	決勝レース	併催レース
Rd.1	4/3(土)~4(日)	富士スピードウェイ		187.083km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第1・2・3戦 ・TCRジャパンシリーズ第1戦
Rd.2	4/24(土)~25(日)	鈴鹿サーキット		174.210km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第4・5・6戦 ・MFJ全日本ロードレース選手権(JSB1000)
Rd.3	5/15(土)~16(日)	オートポリス		196.308km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第7・8・9戦 ・TCRジャパンシリーズ第2戦
Rd.4	6/19(土)~20(日)	スポーツランドSUGO	Q1~Q3 ノックアウト	190.09km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第10・11・12戦
Rd.5	8/28(土)~29(日)	ツインリンクもてぎ		168.035km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第13・14・15戦 ・TCRジャパンシリーズ第4戦
Rd.6	10/2(土)~3(日)	岡山国際サーキット		188.853km	・全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権第16・17戦 ・TCRジャパンシリーズ第5戦
Rd.7	10/30(土)~31(日)	鈴鹿サーキット		174.210km	・TCRジャパンシリーズ第6戦 ・WTCR

[※]大会開催スケジュール等は変更になる場合があります。

■公式合同テストスケジュール

	日程	時間	サーキット
第1回 3月11日(木) 3月12日(金)		9:00~11:00、15:00~17:00 9:00~11:00、14:00~16:00	鈴鹿サーキット
第2回	3月23日(火) 3月24日(水)	9:00~11:00、13:20~15:20 8:50~11:00、14:10~16:10	富士スピードウェイ

■シリーズポイントシステム

昨年に引き続き、2021シリーズは有効ポイント制を導入します。

●ドライバー: 各大会の予選・決勝の合計ポイントの上位5大会の総合計ポイント。

●チ - ム: 各大会の決勝のドライバー合計ポイントの上位5大会の総合計ポイント。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位 以下
予選ポイント	3	2	1								
得点基準(1大会1レース)	20	15	11	8	6	5	4	3	2	1	0

- ※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。
- ●ルーキー・オブ・ザ・イヤー:当該年度初参戦となるルーキードライバーが3名以上存在する場合、その中で年間獲得ポイント最上位の選手に贈られる。 (ルーキー:SFの決勝レース出走回数が積算で4戦未満のドライバー)
- ●チ ム ポ イント:チームに対する得点は、エントラントに対して与えられる。

同一エントラントに2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。

各レースの順位による得点は、得点基準の通りとする。尚、チームポイントには、予選ポイントは与えられない。

■シリーズ賞典

各レースでの入賞成績に応じて与えられるポイントの合算により、シリーズチャンピオンが決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられチャンピオン獲得者には下記の賞典が授与される。

- ●年間チャンピオンチーム経済産業大臣杯(予定)
- ●年間チャンピオンドライバー

ドライバーズチャンピオンカップ / 観光庁長官杯(予定) / 自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯

●ルーキー・オブ・ザ・イヤー トロフィー

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

Broadcasting Partner









2021シリーズのご案内

■ レースフォーマット

●土曜 ・フリー走行(90分)※走行時間は変更となる場合があります。

Q1・Q2・Q3、ノックアウト方式

Q1 A·B組分け(各10分)/上位7台×2組 → Q2(7分)/上位8台 → Q3(7分)

●日曜 ・フリー走行(30分)

> ·決勝 無給油

> > タイヤ交換義務: 先頭車両が10周回目の第1セーフティカーラインを通過した時点から、先頭車

> > > 両が最終周回に入るまでの間に最低1回のタイヤ交換を完了していなければな

らない。

オーバーテイクシステム: 200秒使用可(使用後100秒の制限)

Series Supporter













SF19主要諸元

■シャシー

製作	ダラーラ・オートモービル (イタリア)
全長	5,233mm
ホイールベース	3,115mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
最低重量	670kg
ギアボックス	リカルド製6速パドルシステム
ブレーキ	ブレンボ製キャリパー・カーボン製ディスク
ステアリングシステム	KYB製電動パワーステアリングシステム
フロントサスペンション形式	プッシュロッド、トーションバースプリング
リアサスペンション形式	プッシュロッド
安全基準	2016/17 FIA F1 セイフティレギュレーションに準拠

■エンジン

本田技研工業/M-TEC製/HR-417E
トヨタ自動車/TRD製/TRD01F
2,000cc
直列4気筒、ダイレクトインジェクション
ターボチャージャー (ギャレット製)
85kg
405kw(550ps)以上
燃料リストリクターによる燃料流量制限

^{※2021}年全日本統一規則により、各競技参加者が使用できるエンジンは、年間を通じ1基とする。

■タイヤ

メーカー	横浜ゴム株式会社
サイズ	フロント:270/620/R13 リア:360/620/R13



ドライタイヤ



ウェットタイヤ



Promotion Partner

ThreeBond

Broadcasting Partner











2021年エントリーリスト

2021年3月24日現在

					2021-	F3月24日現在
Car No.	ドライバー名	生年月日 出身地	チーム名 (読み)	エントラント名	監督	エンジン
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11 日本 / 栃木県	TCS NAKAJIMA RACING	TCS NAKAJIMA RACNG	中嶋 悟	HONDA/ M-TEC
64	大湯 都史樹 Toshiki Oyu	1998/ 8/ 4 日本 / 北海道	(ティーシーエス・ナカジマレーシング)	103 NANAUIIVIA NAUNG		HR-417E
3	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/8/3日本/千葉県	KONDO RACING	LYONIDO DAOINIO		TOYOTA/
4	サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz	1999/ 7/28 フランス	(コンドー レーシング)	KONDO RACING	近藤 真彦	TRD01F
5	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	1997/ 1/24日本/徳島県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	DANIDELIONI DA OINIO	+m =UV	HONDA/
6	牧野 任祐 Tadasuke Makino	1997/ 6/28 日本 / 大阪府	(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	DANDELION RACING	吉田 則光	M-TEC HR-417E
7	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13 日本 / 兵庫県	KCMG	140110	松田 次生	TOYOTA/ TRD01F
18	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12 日本 / 神奈川県	(ケーシーエムジー)	KCMG		
12	タチアナ・カルデロン Tatiana Calderón	1993/ 3/10 コロンビア	ThreeBond DragoCORSE (スリーボンドドラゴコルセ)	ThreeBond DragoCORSE	道上 龍	HONDA/ M-TEC HR-417E
14	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30 日本 / 群馬県	NTT Communications ROOKIE (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ・ルーキー)	ROOKIE Racing	片岡 龍也	TOYOTA/ TRD01F
15	大津 弘樹 Hiroki Otsu	1994/ 5/25 日本 /埼玉県	Red Bull MUGEN Team Goh (レッドブル・ムケン・チーム・ゴウ)		m+ **=	HONDA/
16	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15 日本 / 茨城県	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	MUGEN	田中 洋克	M-TEC HR-417E
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29 日本 / 東京都	carenex TEAM IMPUL		星野 一義	TOYOTA/ TRD01F
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/3/7 日本/広島県	(カーエネクス チーム インパル)	TEAM IMPUL		
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11日本/愛知県	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S		4 E-T	TOYOTA/
37	宮田 莉朋 Ritomo Miyata	1999/ 8/10 日本/神奈川県	(クオ バンテリンチーム トムス)	Kuo VANTELIN TEAM TOM'S	舘 信秀	TRD01F
38	坪井 翔 Sho Tsuboi	1995/5/21日本/埼玉県	P.MU/CERUMO · INGING			TOYOTA/
39	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	1999/ 7/ 9 日本 / 大阪府	(ビーエムユーセルモインギング)	INGING MOTORSPORT	立川 祐路	TRD01F
50	イヴ・バルタス Yves Baltas	2002/ 2/15 アメリカ	B-MAX RACING TEAM (ビーマックス レーシングチーム)	B-MAX RACING TEAM	組田 龍司	HONDA/ M-TEC HR-417E

本田技研工業/M-TEC製エンジン使用チーム:6チーム8台 トヨタ自動車/TRD製エンジン使用チーム:6チーム11台























ドライバープロフィール ①

山本 尚貴 Naoki Yamamoto

TCS NAKAJIMA RACING

生年月日 1988年7月11日 出身地 栃木県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ チャンピオン SUPER GT(GT500クラス) シリーズ チャンピオン

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 8位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ チャンピオン 日本プロスポーツ大賞功 労賞獲得

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 14位

2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 3位

2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位

2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ チャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位 日本プロスポーツ大賞功労賞獲得

2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位

大湯 都史樹 Toshiki Oyu

TCS NAKAJIMA RACING

生年月日 1998年8月4日 出身地 北海道



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 6位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 4位

2019 全日本F3選手権 シリーズ 4位

2018 全日本F3選手権 シリーズ 6位

2017 JAF F4 選手権 4位

2016 JAF F4 選手権 3位 JAF F4 東地区 シリーズ チャンピオン JAF F4 西地区 シリーズ チャンピオン 2015 Super-FJ 日本一決定戦 2位 Super-FJ 岡山チャレンジカップ シリーズ チャンピオン

全日本カート選手権 KFクラスシリーズ 8位

2014 全日本カート選手権 KFクラス シリーズ 7位 PETRONAS CHALLENGE シリーズ 3位

2013 全日本カート選手権 KF-2クラス シリーズ 3位 PETRONAS CHALLENGE シリーズ 8位

OPENMASTARE'S ARTA CHALLENGE クラス シリーズ 2位

Series Partner





Promotion Partner

Broadcasting Partner

Supporting Companies



ThreeBond







ドライバープロフィール ②

3 山下健太 Kenta Yamashita

KONDO RACING

生年月日 1995年8月3日 **出身地** 千葉県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 16位

2019-20 FIA 世界耐久選手権 LMP2 参戦

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ チャンピオン

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位 SUPER GT(GT300クラス) シリーズ 5位 **2016** 全日本F3選手権 シリーズ チャンピオン F3マカオGP 4位

2015 全日本F3選手権 シリーズ 2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 20位

2014 全日本F3選手権 シリーズ 2位

2013 フォーミュラチャレンジ・ジャバン シリーズ チャンピオン JAF地方選手権F4東日本シリーズ シリーズ チャンピオン

2012 JAF地方選手権スーパーFJもてぎ シリーズ チャンピオン

2011 全日本カート選手権(S-KF) シリーズ 4位

4 サッシャ・フェネストラズ Sacha Fenestraz

KONDO RACING

生年月日 1999年7月28日 **出身地** フランス



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位

2019 全日本F3選手権 シリーズ チャンピオン SUPER GT(GT300クラス) シリーズ 6位

2018 FIA Formula 3 European Championship 11位 Macau Grand Prix 3位 GP3 Series 24位

2017 Formula Renault Eurocup 1位 Formula Renault NEC 16位 FIA Formula 3 European Championship 20位 Macau Grand Prix 7位 2016 Eurocup Formula Renault 2.0 5位 Formula Renault 2.0 NEC 5位

2015 French F4 Championship 2位

Series Partner













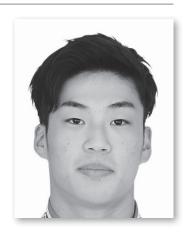
ドライバープロフィール ③

5 福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1997年1月24日

出身地 徳島県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 8位 SUPER GT(GT300クラス) シリーズ 5位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ チャンピオン

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 参戦 FIA フォーミュラ2 選手権 シリーズ 17位

2017 GP3 シリーズ 3位

2016GP3 シリーズ 7位2015全日本F3選手権 4位

2014 フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン

2013 全日本カート選手権 KF1 シリーズ チャンピオン

鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)卒業

2 ※簡潔チ告シリープPMCシリープチャンナン、ADTAチャンジシリープチャンナン

2012 鈴鹿選手権シリーズRMC シリーズ チャンピオン、ARTAチャレンジ シリーズ チャンピオン

2011 鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズ チャンピオン

2010 鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン

6 牧野 任祐 Tadasuke Makino

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

生年月日 1997年6月28日

出身地 大阪府



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 12位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ チャンピオン

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 16位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 12位

2018 FIA Formula2 Championship 13位

2017 FIA Formula3 European Championship 15位

2016 全日本F3選手権 Cクラス シリーズ 5位 SUPER GT(GT300クラス) スポット参戦 2015FIA F4選手権 シリーズ 2位
 JAF F4 東日本 シリーズ チャンピオン
 JAF F4 西日本 シリーズ チャンピオン
 JAF F4 日本一決定戦 優勝

2014 JAF地方選手権Super-J 岡山 シリーズ チャンピオン Super-FJ ドリームカップレース 優勝 Super-FJ 日本一決定戦 優勝

2013 全日本カート選手権 KF-1クラス シリーズ 6位 2012 全日本カート選手権 KF-1クラス シリーズ 4位

2011 全日本カート選手権 FS125クラス シリーズ チャンピオン

Series Partner

HONDA TOYOTA



Promotion Partner
ThreeBond

Broadcasting Partner

- -







ドライバープロフィール 4

小林 可夢偉 Kamui Kobayashi

KCMG

生年月日 1986年9月13日 出身地 兵庫県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 16位 デイトナ24時間レース 総合優勝

2019-20 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズチャンピオン

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 6位 デイトナ24時間レース 総合優勝

2018-19 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズ 2位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 13位 ル・マン24時間レース LMP1クラス 2位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 17位 FIA世界耐久選手権 シリーズ 5位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位 FIA世界耐久選手権 シリーズ 3位

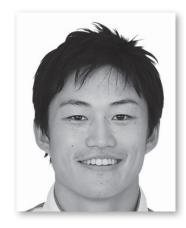
2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 6位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 日本プロスポーツ大賞新人賞獲得

2014 F1世界選手権 シリーズ 22位

18 <mark>国本 雄資</mark> Yuji Kunimoto

KCMG

生年月日 1990年9月12日 出身地 神奈川県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 17位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 11位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 8位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 14位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ チャンピオン 日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位

2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位

2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位

2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位

2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位

2011 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ 10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 7位

Series Partner





Promotion Partner

ThreeBond

Broadcasting Partner











ドライバープロフィール ⑤

タチアナ・カルデロン Tatiana Calderón

ThreeBond DragoCORSE

生年月日 1993年3月10日 出身地 コロンビア



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 参戦 ヨーロピアン・ルマン シリーズ 参戦 2019 F1世界選手権 アルファロメオ・レーシング テストドライバー

FIA Formula 2 Championship 22位

2018 F1世界選手権 アルファロメオ・ザウバーF1チーム テストドライバー GP3 Series 16位

2017 F1世界選手権 ザウバーF1チーム 開発ドライバー GP3 Series 18位 Formula Renault 3.5 14位

2016 GP3 Series 21位 Euroformula Open Championship 9位 スペイン・フォーミュラ36位

2015-16 MRF Challenge Formula 2000 2位

2015 FIA Formula 3 European Championship 27位 2014 FIA Formula 3 European Championship 15位 2013 FIA Formula 3 European Championship 32位 British Formula Three Championship 9位

















ドライバープロフィール ⑥

大嶋 和也 Kazuya Oshima

NTT Communications ROOKIE

生年月日 1987年4月30日 出身地 群馬県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 19位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 7位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 14位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ チャンピオン

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 10位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 12位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 3位

2016 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 2位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝 2015 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝

2014 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝 ニュル耐久レースシリーズ クラス優勝

2013 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス 2位









Supporting Companies





Broadcasting Partner





ドライバープロフィール ⑦

大津 弘樹 Hiroki Otsu

Red Bull MUGEN Team Goh

生年月日 1994年5月25日 出身地 埼玉県



主な経歴

2020 SUPER GT (GT500クラス) 参戦 2019 全日本F3選手権 シリーズ 6位 SUPER GT(GT300クラス) 参戦 SUPER耐久TCRクラス参戦 2018 日本F3選手権 シリーズ 参戦 SUPER GT (GT300クラス) 参戦 2017 全日本F3選手権 シリーズ5位 2016 全日本F3選手権 シリーズランキング 9位 **2015** JAF F4 シリーズランキング 3位 2013 JAF F4 FCクラス 参戦

2010 全日本カート選手権 参戦 2009 全日本カート選手権参戦 2008 全日本カート選手権 KF2クラス シリーズチャンピオン 2007 地方選手権東地域 シリーズチャンピオン SL全国大会SSクラス 優勝 SL全国大会SSクラス2位 CAカートレース2位 2006 地方選手権東地域 シリーズチャンピオン















ドライバープロフィール ⑧



TEAM MUGEN

生年月日 1989年9月15日 出身地 茨城県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 5位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 4位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 10位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 7位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 3位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 9位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 15位

2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 14位

2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 日本プロスポーツ大賞新人賞獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 10位

2013 全日本F3選手権 シリーズ 4位

2012 全日本F3選手権 シリーズ 5位

2011 全日本F3選手権 Nクラス シリーズ 2位

2010 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 5位









ドライバープロフィール ⑨

関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi

carenex TEAM IMPUL

生年月日 1987年12月29日 出身地 東京都



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 14位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 4位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 8位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 7位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 4位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 5位

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 3位 日本プロスポーツ大賞新人賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 4位

2015 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位

2014 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 13位

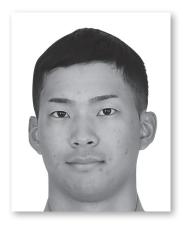
2013 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 12位 インタープロトシリーズ シリーズ 2位

2012 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 6位

20 平川亮 Ryo Hirakawa

carenex TEAM IMPUL

生年月日 1994年3月7日 出身地 広島県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 2位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 2位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 10位 SUPER GT(GT500クラス) シリーズ 2位

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 2位

2017 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ チャンピオン

2016 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 9位

2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 5位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラス シリーズ チャンピオン

2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラス シリーズ チャンピオン スーパー耐久 ST-1クラス シリーズ チャンピオン

2013 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ 11位 インタープロトシリーズ シリーズ チャンピオン

Series Partner

HONDA TOYOTA



Promotion Partner ThreeBond

Broadcasting Partner









ドライバープロフィール ⑩

中嶋 一貴 Kazuki Nakajima

Kuo VANTELIN TEAM TOM'S

生年月日 1985年1月11日 出身地 愛知県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位 ル·マン24時間レース LMP1クラス 優勝

2019-20 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス 2位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位 ル・マン24時間レース LMP1クラス 優勝

2018-19 FIA世界耐久選手権 LMP1クラス シリーズ優勝

2018 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 6位 ル·マン24時間レース LMP1クラス 優勝 FIA世界耐久選手権 シリーズ 2位 日本プロスポーツ大賞特別賞獲得

2017 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ 2位

2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 6位 FIA世界耐久選手権 シリーズ 8位



宮田 莉朋 Ritomo Miyata

Kuo VANTELIN TEAM TOM'S

生年月日 1998年8月10日 出身地 神奈川県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 シリーズチャンピオン 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 17位 SUPER GT GT500クラス 17位

2019 全日本F3選手権 シリーズ2位 GT300クラス シリーズ17位

2018 全日本F3選手権 シリーズ2位 GT300クラス シリーズ12位 F3マカオGP 13位

2017 F3マカオGP 12位 全日本F3選手権 シリーズ4位 FIA-F4選手権 シーズン1位(4勝)

2016 FIA-F4選手権 シーズン1位 全日本カート選手権 KFクラス シーズン 1位

2015 FIA-F4選手権 シーズン15位

全日本カート選手権 KFクラス シーズン 3位

2014 全日本カート選手権 KFクラス シーズン 1位

2013 全日本カート選手権 KFクラス シーズン 2位

Series Partner





Promotion Partner

Broadcasting Partner







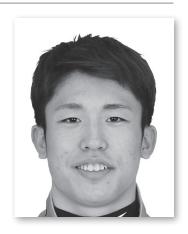


ドライバープロフィール ①

坪井 翔 Sho Tsuboi

P.MU/CFRUMO · INGING

生年月日 1995年5月21日 出身地 埼玉県



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 7位

2019 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ 12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ 11位

2018 全日本F3選手権 シリーズ チャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 7位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロト シリーズ 5位

2017 全日本F3選手権 シリーズ 2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 3位 スーパー耐久シリーズ ST4クラス チャンピオン インタープロト シリーズ 3位

2016 全日本F3選手権 シリーズ 3位 インタープロト シリーズ 2位

2015 FIA F4選手権 シリーズチャンピオン インタープロト シリーズ 9位

2014 F4地方選手権 FCシリーズ 2位

2013 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 5位

2012 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ 7位

阪口 晴南 Sena Sakaguchi

P.MU/CERUMO · INGING

生年月日 1999年7月9日 出身地 大阪府



主な経歴

2020 全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 シリーズ 2位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦 参戦 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 16位 (GT500クラス) 第2戦 18位

FORMULA REGIONAL JAPANESE CHAMPIONSHIP チャンピオン

2019 全日本F3選手権 シリーズ 参戦

SUPER GT (GT300クラス) シリーズ 2位

2018 全日本F3選手権 シリーズ 4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第2戦参戦 2017 全日本F3選手権 シリーズ 6位

2016 全日本F3選手権 シリーズ 9位 FIA F4選手権 シリーズ 2位

2015 全日本カート選手権 KFクラスシリーズチャンピオン FIA F4選手権 シリーズ 参戦 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ 首席卒業 スカラシップ獲得

2014 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ 3位

2013 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズチャンピオン 鈴鹿カート選手権シリーズJRMCシリーズチャンピオン

Series Partner

HONDA TOYOTA



Promotion Partner ThreeBond

Broadcasting Partner







ドライバープロフィール ⑫



イヴ・バルタス Yves Baltas

B-MAX RACING TEAM

生年月日 2002年2月15日 出身地 アメリカ



主な経歴

2019 Formula Renault Eurocup 参戦

2018 EuroFormula Open 参戦

2017 F4 British Championship certified by FIA - powered by Ford 参戦





ThreeBond













新型コロナウィルスの世界的感染拡大を機に、社会は大きく変化し、これまでのやり方についても改めて見つめ直す機会ともなりました。この一年、様々なシステムのデジタルシフトが急速に進む中、スーパーフォーミュラはそのプロモーション活動のツールやインフラ、プラットフォームのデジタル化を積極的に進めてきました。

具体的には、新しいお客様情報サービスのスマホアプリ「Grooview」の新規導入、及びトークイベント等の「公式 YouTube生配信」はその一環であり、このコロナ禍の中、サーキットご来場のお客様から多くの支持を頂きました。

また、レース映像の更なる露出拡大として、若者から絶大な支持を持つネット配信プラットフォーム「Red Bull TV」での全世界映像配信を開始しました。

今シーズンは、これらデジタルツールのコンテンツのグレードアップはもとより、サーキットとの連携をさらに強化し、来場者へのサービスアップを図り、加えて、新規の配信プラットフォームの開拓を積極的に進め、BSフジの情報番組「GO ON!」の大都市圏地上波テレビへの放送拡大も実施しつつ、プレゼンス向上及びリーチ拡大に努めてまいります。

■アプリ・YouTube生配信

・アプリGrooview

App StoreやPlayストアから無料ダウンロードすれば、パスワード[sf2021]のインプットですぐ使え、レース映像、実況·放送席のアナウンサー映像、ドライバーや監督、サーキットクイーン・レースクイーンの各種トークイベントやグリッドリポートなどの映像を、お手持ちのスマホで、リアルタイムで見ることができるアプリです。

さらに映像だけでなく、エントリーリスト、レギュレーション、場内マップ、コロナ対策情報等も見ることができる、サーキットでの新しい観客向け情報サービスです。

また、GPS機能によりチャンネル毎のエリア制御が可能で、例えばレース映像はサーキット内限定視聴としたり、トークイベント映像は全国配信とする事が可能です。

·SF公式YouTube生配信

オフィシャルステージや特設スタジオで実施するドライバーや監督、サーキットクイーン・レースクイーンの各種トークイベントの模様や、MCがグリッドに出てのリアルタイムリポート等をSF公式YouTubeで生配信します。この内容はGrooviewでもご覧いただけます。

・SF公式LiveTimingアプリ

スマホiOS・Androidに対応。SF公式ホームページの「LIVE TIMING」でもご利用できます。

■eスポーツ イベント

GT Young Challenge2021

新しい時代にあわせた「学生スポーツ文化」の育成を目的に、「全日本学生自動車連盟」に加盟する全国の自動車を愛する大学生を対象としたeスポーツイベントの開催を予定しています。世界的人気を誇る「グランツーリスモSPORT」に搭載された「SF19」を使った、学生たちによる戦いの場を提供することで、操ることの楽しさを若年層に広めてまいります。(大会詳細は決定後に改めてご案内します)



Promotion Partner

ThreeBond

Broadcasting Partner

RTS











■ネット配信

プラットフォーム	配信エリア	内容·配信形態·URL
SF公式YouTube	国内	全予選・決勝レースのダイジェスト。VOD https://superformula.net/sf2/video-library https://www.youtube.com/user/suprerformulevideo
Red Bull TV	全世界	全予選・決勝レース。LIVE/VOD https://www.redbull.com/jp-ja/events/superformula/
The Race	全世界(日本を除く)	全決勝レース。LIVE/VOD https://the-race.com
motorsport.tv	全世界(日本を除く)	全決勝レース。LIVE/VOD https://motorsport.tv/racing/super-formula/12
JSPORTS	国内	全予選・決勝レース。LIVE/VOD <有料> https://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/
GYAO!	国内	全決勝レース。決勝10日後に配信。VOD https://gyao.yahoo.co.jp/ct/sports
Rev TV	カナダ	全決勝レース。VOD https://revtv.ca

■SNS

プラットフォーム	URL	ハッシュタグ
SF公式Twitter	https://twitter.com/SUPER_FORMULA	#sformula
SF公式Facebook	https://www.facebook.com/superformula.official	#sformula
SF公式Instagram	https://www.instagram.com/superformula_official	#superformula

■ SF公式ホームページ

https://superformula.net/sf2/









SF公式ホームページ

公式YouTube

公式Twitter

Red Bull TV



















テレビ放送

■BSフジ『2021全日本スーパーフォーミュラ選手権』

2017年から全国無料放送のBSフジで放送している『決勝中継』を、今年も継続いたします。番組では、ルール解説やレース終了時の 総括、表彰式まで、決勝レースの全体像をわかりやすく視聴者の皆様にお届けします。

○放送時間:決勝レース当日26:00~27:55

○実 況:塩原 恒夫・野崎 昌一

○解 説:本山哲·土屋武士·古賀敬介

○ピットレポート:柳田 真孝・三浦 愛

■BSフジ『スーパーフォーミュラGO ON!』

スーパーフォーミュラの総合情報番組『スーパーフォーミュラGO ON!』では、昨年までナレーションを担当してきた乃木坂46 の樋口日奈が番組ナビゲーターとなり、直近レースの詳細解説に加えて、次の大会のレースの見どころ等、スーパーフォー ミュラの魅力をたっぷりお伝えする番組に生まれ変わります。

また番組では、選手の今が見える様々な企画も放送。普段見られないヘルメットの中に隠れた選手の素顔に迫ります。

○放送予定日: 大会開催日の前週末 ○放送時間:26:00~26:55

★『スーパーフォーミュラ GO ON!』の大都市圏地上波テレビへの放送拡大

第2戦鈴鹿大会に向け → 三重テレビ(三重県)

第3戦オートポリス大会に向け → テレビ西日本(福岡県) テレビ熊本(熊本県)

第4戦SUGO大会に向け → 仙台放送(宮城県)

> 岩手めんこいテレビ(岩手県) さくらんぼテレビジョン(山形県)

■J SPORTS『スーパーフォーミュラ 2021』CS放送

スーパーフォーミュラ全7戦の予選・決勝レースの模様を生中継を中心にお送りします。 尚、詳しい放送スケジュール等については、JSPORTSサイトでご確認ください。













BSフジ『決勝中継』出演者

■解説者



TV解説者 本山 哲 Satoshi Motoyama

1998年、2001年、2003年、2005年とフォーミュラニッポ ンで4度のシリーズチャンピオンを獲得。通算27勝、通算ポー ルポジション獲得21回はいずれも歴代1位の記録。2018年か ら2020年にはB-Max Racingの監督を務めましたが、今シー ズンは、スーパーGT300クラスで、久しぶりの現役ドライバ 一に復帰。ドライバーと監督の両方の経験値を活かし、スーパ ーフォーミュラの魅力をたっぷりお伝えします。



TV解説者 土屋 武士 Takeshi Tsuchiya

フォーミュラ・ニッポンやSUPER GTなどの全日本のトップ カテゴリーで活躍。 ルマン24時間やニュルブルクリンク24時 間レースなどへの参戦経験もあるレーシングドライバー。現在 は、開発ドライバーとしての参戦や、若手育成や人材育成のプ ロジェクトに携わりながら、エンジニアとドライバーを兼任し、 マシンをドライブする「プロレーサーエンジニア」としても活躍 しています。また自身のチーム「つちやエンジニアリング」のチ 一ム代表兼監督も務めています。



TV解説者 古賀 敬介 Keisuke Koga

大学卒業後、モータースポーツ専門誌の編集部員として活躍。その後、フリーランスのジャーナリスト/フォトグラファーとして、WRC、パリ・ダカールをはじめとするラリーやインディ500、CART、NASCARなどのアメリカンレースを精力的に取材。また外レースだけでなく、SUPER GT、スーパーフォーミュラなど国内レースの取材も積極的に行っています。国内外のレース取材で蓄積した様々な情報をもとに、一歩踏み込んだわかりやすりの発音を行います。 かりやすい解説を行います。



Promotion Partner

Broadcasting Partner















BSフジ『決勝中継』出演者

■実況アナウンサー



TV実況 塩原 恒夫 Tsuneo Shiobara

フジテレビF1中継をはじめ、ゴルフ、フィギュアスケート、競 馬、野球、マラソンなど数多くのスポーツ中継の実況を担当。 スポーツ実況だけでなく、バラエティ番組も担当した経験を活 かし、スーパーフォーミュラの実況中継で大会を大いに盛り上 げます。



TV実況 野崎 昌一 Masakazu Nozaki

元フジテレビアナウンサー。1987年よりフジテレビが全戦中 継をスタートしたF1グランプリの記念すべき第1戦を実況を 務める。1988年から4年間、『プロ野球ニュース』メインキャス ターも担当。 またモータースポーツ以外にも、1998年長野オ リンピックや2000年シドニーオリンピック、 プロ野球中継、 ゴルフ中継など数多くのスポーツ中継の実況を担当。2019年 からスーパーフォーミュラの実況に加え、F1グランプリの実 況にも復帰したベテランスポーツアナウンサーです。

■中継リポーター



中継リポーター 柳田 真孝 Masataka Yanagida

SUPER GT GT300クラスやGT500クラスでシリーズチャンピオンを獲得したほか、スーパー耐久シリーズST class1でもシリー ズチャンピオンを獲得。2006年には、KONDO RACINGからフォ - ミュラ・ニッポンに参戦。 現在は、SUPER GTシリーズを中心に 海外レースに参戦しながら、 メディアやイベントへの出演やSNS への発信を積極的に行い、 モータースポーツの普及に努めていま



中継リポーター 三浦 愛 Ai Miura

2014年、 全日本F3選手権Nクラスに18年ぶりの女性ドライ バーとして参戦。 第2戦(鈴鹿)で女性ドライバー史上初のクラ ス優勝を果たしました。2015年には、3度の優勝でシリーズラ ンキング2位を獲得。翌年、念願の全日本F3選手権Cクラスへ ステップアップを果たしました。2017年には、 女性ドライバ ー史上最高の4位を獲得。 シリーズランキングも8位に輝きました。昨シーズンからスーパーフォーミュラのビットリポーターを担当。フォーミュラカーをドライブしてきた経験を活かし た女性ならではのきめ細やかな取材・リポートに乞うご期待!

Series Partner

HONDA TOYOTA



Promotion Partner ThreeBond

Broadcasting Partner













BSフジ『スーパーフォーミュラGO ON!』出演者

■ナビゲーター



ボレーション **樋口 日奈 (乃木坂46)** Hina Higuchi

番組に関わるのは、地上波フジテレビで放送していた『超速GO音』時代から足掛け6年目となります。今年も、親しみやすいナレーションで、スーパーフォーミュラファンのハートを鷲づかみにします!











場内実況・ステージ解説・MC



場内実況 ピエール 北川 Pierre Kitagawa

レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝えてくれる名アナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当。



TECHNOLOGY LABO.主筆 **両角 岳彦**Takehiko Morozumi

公式ウエブ「TECHNOLOGY LABORATORY」主筆、及びステージイベント「テクラボ」メイン解説者。「エンジニアたちの作戦計画」では、毎回エンジニアたちの見えない戦いを浮き彫りにします。「マシン」「タイヤ」「エンジン」「空力」など自動車評論家としての独自目線で深掘りし、レースの真髄を解き明かします。



オフィシャルステージMC **水村 リア** Leah Mizumura

スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージで、毎戦様々なトークショーやイベントの司会進行を担当。得意の英語力を活かし外国人ドライバーとのトークもこなせば、テクノロジー・ラボラトリーからレースクイーンオンステージまで、硬軟すべての場面で持ち前のバイタリティーを発揮し会場を盛り上げます。



オフィシャルステージMC **笠原 美香** Mika Kasahara

BSフジ『カンニングのDAI安★吉日!』の石浦宏明選手応援企画ミュラ子として、2015年Rd.1鈴鹿サーキットにピンクのつなぎとヘルメット、のぼりを持って初登場。その年最終戦、石浦選手のチャンピオンがかかったレーススタート後、感極まり涙を流したのが語り草。翌年からは、中嶋ー貴選手、ストフェル・バンドーン選手、ピエール・ガスリー選手など、シリーズに参戦する選手の取材を精力的に行い、モータースポーツファンからも一目置かれる存在に。

Series Partner

HONDA TOYOTA



Promotion Partner

Broadcasting Partner













新型コロナウィルス感染防止対策

■感染防止対策ポリシー

株式会社日本レースプロモーションは全日本スーパーフォーミュラ選手権の統括団体として、 サポートレースを含むエントラント及 び関係者の健康と安全を第一に考えながら、観客ならびにゲストをお迎えしての大会開催を目指し、国・自治体・JAFのガイドラインに 則り、社会情勢を勘案しつつ、絶えず更新し柔軟に対応することをポリシーとする。

■主な対策

①管理エリアの分離

クラスター発生ならびに発症者発生時のレース活動への影響を回避するため、ソーシャルバブルの運用を徹底する。

②行動管理の徹底と基本防止策の啓発

厚生労働省が取りまとめる科学的知見をもとに日常生活の行動管理と、マスク・うがい・手洗いといった基本防止策の更なる啓 発を進める。

③効果的な入場者健康管理

事前問診を継続。新たに健康管理アプリを導入し、実効性の高い入場管理を行う。

④クラスターを回避する発症者対応

開催前、開催中、開催後の3つのフェーズに分けた対策フローの実施で、影響を最小限にとどめる。











ABOUT SUPER FORMULA

1950年代に FIA 国際自動車連盟は「ドライバーズチャンピオンシップは純然たるレーシングマシンであるフォーミュラカーによって競われる」ものと発表し、FIA 加盟各国はその精神を継承していった。

日本においては 1973年に始まる全日本F2000選手権、1978年から全日本F2選手権、1987年から全日本F3000選手権と変遷を繰り返しながらもトップフォーミュラでのチャンピオンシップが開催され、1995年に株式会社日本レースプロモーション(JRP)の発足により翌年から全日本選手権フォーミュラ・ニッポンとして装いを新たにスタートした。

2013年より全日本選手権スーパーフォーミュラと名称を変更。「日本からアジアへ」、「F1、インディ、そして自身を第3極」として位置付けることを明確化し、ハード、ソフトの両面で斬新な改革を行った。(2016年シーズンより全日本スーパーフォーミュラ選手権と名称変更)。

2017年から、BS フジでもスーパーフォーミュラ決勝レース中継を開始、多くのモータースポーツファンが決勝レースを TV 観戦できる環境が整った。



日本でのフォーミュラレースは、その初期においては高橋国光、星野一義、そしてその後 F1へ参戦することになる中嶋悟らが黎明期を牽引。全日本F3000選手権時代にはミハエル・シューマッハーが、フォーミュラ・ニッポンからはラルフ・シューマッハー、エディ・アーバイン、高木虎之介らが活躍。F1を目指す猛者たちがこぞって参戦した。



中嶋 悟



ミハエル・シューマッハー



エディ・アーバイン



Promotion Partner

ThreeBond

Broadcasting Partner







ABOUT SUPER FORMULA

近年では、FIA 世界耐久選手権(WEC)チャンピオンのアンドレ・ロッテラーをはじめ、ブノワ・トレルイエ、ロイック・デュバル、 中嶋一貴らが参戦し全日本選手権タイトルを獲得。2015年には前年まで F1 に参戦していた小林可夢偉が凱旋参戦を果た し、観衆を魅了している。2016年には前年のGP2チャンピオンのストフェル・バンドーン、翌2017年にも前年のGP2チャン ピオンであるピエール・ガスリーが参戦。両者ともF1世界選手権へのフル参戦を果たすこととなり、本シリーズのコンペティシ ョンの高さが世界からも注目される事となった。





アンドレ・ロッテラー

中嶋一貴







小林可夢偉

ストフェル・バンドーン

ピエール・ガスリー

2020年シーズンには、23年ぶりとなる女性ドライバーを含む6名の新人ドライバーや、F1に直結するレッドブル育成 ドライバーなど、話題性を持ったドライバーが多数参戦。SUPER FORMULAへの参戦・活躍がトップドライバーか否かの 世界的な評価基準となっている。

ハード面では、2014年からイタリア ダラーラ社製のSF14を採用。エンジンは2 リッター直列4気筒直噴ターボエンジン (NRE エンジン)がホンダ、トヨタにより供給され、継続的に燃焼効率の改善や出力の向上など様々な技術改良が図られている。 この SF14+NRE のパッケージは、レースのコンペティションレベルを押上げ、他に類を見ない僅差で激しい戦いを演出する こととなった。

シャシーはSF14のコンセプトを継承し、より安全基準に対応したダラーラ社製第2世代となるSF19を2019年から導入。 また、燃料流用リストリクターも引き続き使用する。オーバーテイクシステムは、トータル200秒間をドライバーが任意のタイミ ングで使用できるシステムとなっている。



SF19



Promotion Partner ThreeBond



Supporting Companies



Broadcasting Partner







ABOUT SUPER FORMULA

タイヤは、2016年からトップフォーミュラへの参戦が約20年ぶりとなった横浜ゴムが ADVAN レーシングタイヤのワンメイ ク供給を開始。安全性能、競技性能のみならず、エンターテインメント性も考慮した開発を行っている。



エンジンを除くと基本的にはワンメイクレースであり、それゆえに予選はほぼ全車が1秒以内という驚異的な次元で争われる 純粋なドライバーズ選手権であり、エンジニアリングレースでもある。またシリーズは鈴鹿サーキットや富士スピードウェイ、ツ インリンクもてぎと言った世界選手権を開催するサーキットで行われるのはもちろんのこと、一瞬のミスも許されない緊張感が あることから外国人ドライバーに評価の高いSUGO、オートポリスといったいわゆるオールドスタイルコースでも開催され、より コンペティティブなレースを生み出している。











パートナー各社

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社

http://www.honda.co.jp/

TOYO

トヨタ自動車株式会社

http://www.toyota.co.jp/

Series Supporter



横浜ゴム株式会社

http://www.yrc.co.jp/

Promotion Partner

Broadcasting Partner





BSフジ

http://www.bsfuji.tv/

Supporting Companies

人気酒造株式会社

http://www.ninki.co.jp/



Viron Japan株式会社

http://www.brmjapan.com

株式会社スリーボンド

https://www.threebond.co.jp/

SPORTS

株式会社ジェイ・スポーツ

http://www.jsports.co.jp/

Series Partner





Promotion Partner

ThreeBond















本リリースに関するお問い合わせ

株式会社日本レースプロモーション 〒102-0074

東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル3F

TEL: 03-3237-0131 FAX: 03-3237-0135

http://www.superformula.net/





Broadcasting Partner

